

写真展「鬼来迎」 国指定重要無形民俗文化財

とき 6月14日(土) <
7月13日(日)>

午前9時30分<

午後5時30分

パネルで解説します。

長く継承される文化のすばらしさ、歴史ある町・誇れる郷土を伝え、毎年8月16日に境内で演じられる鬼来迎地獄芝居を紹介します。

◆問い合わせ

図書館 ☎043311



随想誌「地下水」原稿募集

《寄稿の方法》

内容 日常生活での体験

や感想、随想、論説、解説等で題材は自由

文章

①原則として口語体とし、常用漢字・現代仮名遣いによる

②用紙は、所定(町民会館)の原稿用紙またはワープ口印刷でも可能

③用筆は、黒または青ボールペンか万年筆で、文章

は1行24文字、23行とする(匿名はお断りします。)

締切 7月11日(金)

※寄稿いただいた原稿は、

原則返却しません。すでに発表したものはお断りします。また著作権等の侵害にならないようご注意ください。

◆提出先・問い合わせ

社会文化課生涯学習班 ☎041358

栗山川周辺環境 ボランティア募集

栗山川周辺の草刈とポイ捨てごみの回収作業を行いますので、みなさんのご協力をお願いします。

とき 6月15日(日)

午前7時30分集合

内容 栗山川堤防の草刈

とポイ捨てごみの回収

※ボランティアの集合場所は、申込時にお知らせします。

天候による実施の有無は当日の朝、防災無線で放送します。

◆申込・問い合わせ

環境防災課環境班

☎041216

♪作品展示♪

【町民会館ミニギャラリー】

6月 絵手紙クラブ
7月 写友会

【文化会館ロビー】

6月 草木染めクラブ
7月 華舟会

【サビア】

6月 横芝写真クラブ

こうほう博物館

vol.3

新井の板碑

宝米地区から新井地区へ向かうと万福寺があり、少し進むと左に入る小道があります。その小道を歩いて100メートルほど歩くと、道の左側にある祠の中に高さ80センチほどの黒い板状の石が立っています。これは今から五、六百年前の中世に、人々が自分達の極楽往生を祈って建てた供養塔の一つで、その形から板碑や板石塔婆と呼ばれ、石の表面には仏様の一尊である阿弥陀如来を表した梵字キリク(古代インド文字)が二つ彫ってあり、阿弥陀種子双式板碑と呼ばれます。黒い板状の石は黒雲母片岩という種類で筑波山東麓産であることから筑波石とも呼ばれています。

ところがこの石は、板碑を造るときに筑波から運んだのではなく、町内にある古墳の石室に使われていた石を引き抜き、再利用していたことが分かっています。そのため発掘調査で出てくる古墳は、石室が壊されてなくなっていることが多くあります。

板碑は、光地区では町指定の八基を含む三十基近く確認されていますが、横芝地区からはいまだに全く見つかっていません。これは栗山川から南の上総国ではあまり板碑を建てる習慣がなかったことや、筑波石を使った古墳がなく、石材の入手が困難であったことなどが考えられます。

光地区には、あちこちに様々な板碑が建っていますので、ぜひ一度、新しくできた文化財マップを手に町内の板碑をめぐり歩いてみてはいかがでしょうか。そして中世の人の心に触れてみてはいかがでしょうか。



▶新井の板碑